



高度な技術力で難削材の加工も次々と手掛ける。

### 圧倒的な技術力!まさに MADE IN JAPANを実感

精密な金属加工の製品や製造現場を見て、まさに日本の技術力の素晴らしさを垣間見た思いでした! 旋盤工だった高祖亀太郎氏が創業し、現在は孫の雅規さんが代表を務めていらっしゃいます。加工が難しいレアメタルの扱いに長けた国内トップクラスの技術に脱帽! また、硬い金属の業界ですが、社長をはじめ皆さんのやさしい人柄や柔軟な思考に癒やされた取材でした。



プログラミング後、旋盤の機械で加工。微調整は熟練の技で行う。

センサーを使って最終検査を行う。

これまで手掛けてきたアイテムは約4万種類! 約50種類の金属に対応。

#### 柔軟な高洋電機さん最近の動向が知りたい!

高祖社長はとても柔軟な思考をお持ちで、常にチャレンジングな方でした。取材後、なにか新たな取り組みは始まっていますか?

#### 高額素材のプラチナの加工はシビレたチャレンジでした!



加工レベルを知ってもらう意味も込めて、国内外で純タンステン製六角穴付きボルトの在庫販売を開始しました。また新しい加工品としてはプラチナがあります。材料費だけでもかなり高額。左の写真は、0.2mmの軸径に0.15mmの穴を開けたもので、最近一番シビレた加工です。あとは、社内部活動を推奨して、ゴルフ部、ボウリング部などが立ち上がりました。ちなみに私は読書部の部長です!

代表取締役社長  
高祖雅規さん

Cool!



巣箱の中の巣脾(すび)には1枚につき約3,000匹が暮らす。

### 蜂を育てるだけじゃない! 養蜂の多様な面に驚き

ミツバチを通じた多様な事業を行うアピ株式会社さん。ミツバチの養成を行うミツバチ課の仕事を見学しに、各務原市にある川島養蜂場へうかがいました。「養蜂」といってもハチミツを採ることが目的ではなく、主に農業で使う花粉交配用のハチ(受粉昆虫)を育てているアピさんですが、愛情たっぷりにハチと向き合うスタッフの方たちも印象に残りました。



全国150軒の養蜂家から届くミツバチを農家へ届ける。



同社開発の花粉交配用巣箱「らくらく交配シリーズ」。ローヤルゼリーやプロポリスを使用した健康補助食品の開発も。

養蜂場をご案内いただいたミツバチ課係長の村瀬芳紀さん。

#### ミツバチのかわりにハエが活躍?

私たちの社会にミツバチが大きく役立っていることがわかりましたが、ミツバチの減少が世界的な問題になっているとも聞きました。代用としてハエを応用する方法もあるとか?

#### 競合昆虫が現れた!でもまずは興味が湧いたんです。

日本農業新聞にミツバチの代わりにヒロズキンバエを受粉昆虫に用いる「ビーフライ」が紹介されていました。大変興味を沸き、すぐに製造メーカーと連絡を取り見学させていただきました。そして、アピでの取り扱い、ミツバチとの併用という利用方法の確立に。反響としては大変大きく、新聞、テレビなどさまざまな取材を受けました。利用する農家は増えましたが、最終的には消費者のイメージを変えることが重要ですね。



ミツバチ課 課長  
今井弘一さん

Fantastic!



柔軟性が高い「有機無機ハイブリッドガラス」はさまざまな用途に応用できる。

### ガラスの印象を覆す 独創的な発想が光る



200年も続くガラス製造の老舗メーカー。創業者の石塚岩三郎氏は尾張藩主の徳川慶勝公から注文を受けていたということで興味深かったですね。見学したのはジュースガラスの製造ライン。その製造工程はずっと見ていたくらい楽しかった!それから、「曲がるガラス」や抗菌剤など、古くからあるガラス素材がいろいろな可能性を秘めていることは初めて知りました!



家庭用はもちろん、飲食店のガラスやビール瓶など、石塚硝子の製品は日常に溶け込んでいる。



無機材というガラスの性質を生かして抗菌剤や消臭剤などを開発。



工場では、溶解炉の熱気のなか次々と製品が形成されていく。

#### 新しいサービス「EPOCH TABLE」って?

ガラスを使った機能性のある素材でさらに生まれた製品や実用化された例はありますか? また、食器のシェアリングサービス「EPOCH TABLE」を開始されたそうですね!

#### ご家庭での食事をもっと豊かに! 地元と密着した企画も進行中。

抗菌剤はコロナ禍で4~6月の需要が2倍に。新たな「抗ウイルス剤」の開発にも力を注いでいます。「EPOCH TABLE」は、プロのスタイリストがコーディネートしたテーブルウェアでご家庭での食事を「おうちレストラン」へ変化させることを提案しています。さらに、地元・岩倉市とともに「究極の卵かけごはんプロジェクト」の立ち上げを準備中。「卵かけごはん専用の器」(卵を溶くガラス製の片口豆鉢)を担当しています!



ハウスウェアカンパニー 販部ネット通販グループ  
佐々木崇也さん

人事総務グループ  
高田英樹さん



Wow!

# クリス・グレンの産業 ImpresSion! Again!!

オーストラリア出身で日本をこよなく愛するクリス・グレンさんが中部地域の産業の現場をめぐるこのコーナー。今回は、過去に訪問した企業を振り返り、近況をレポートする特別編です!  
イラスト/クリス・グレン

## Vol.11 中部を代表する 企業の今

### 中部を代表する企業の今 新たな取り組みも続々!

ども、ども、ども! クリス・グレンです。さて今回は、2年にわたって中部地域の産業を訪ねてきた中で印象的だった5つの企業をピックアップして振り返り、さらに追跡取材! 皆さんそれぞれ前向きに、新たなチャレンジや取り組みをされており、元氣と勇氣をもらいました。これからもこの地域で活躍する元氣な企業をご紹介し、皆さんにお伝えしていきたいと思えました。明るく新しい未来をこれからも、みんなでつくっていきましょう!

ボクの描いた  
イラストも楽しんでね!

#### クリス・グレン

オーストラリア出身。名古屋在住。ラジオDJとしてZIP-FM「RADIO ORBIT」(日曜10:00~13:00)を担当するほか、NHK「プラタモリ」、NHK WORLD「CASTLE QUEST」「NINJA TRUTH」などテレビ出演も多数。趣味は戦国史の研究、城めぐりなど。近年は、外国人目線での地域の魅力の掘り起こしや情報発信などを行うインバウンド観光アドバイザーとしても活躍中。  
<http://www.chris-glenn.com/>



Check!

これまでの取材の様子は交流ホームページでご覧いただけます







自然の中でくつろげるのも  
 軽井沢プリンスホテルの魅力。

## 休暇にも、ビジネスにも！ 日本が誇るリゾート



言わずと知れたリゾートエリア・軽井沢。西武グループが事業を始めて以降約100年にわたってリゾート文化を浸透させてきたのが「軽井沢プリンスホテル」です。取材時は一晩の滞在でしたが、思う存分リラックスできました。豊かな自然を次代へ受け継ごうという姿勢や“これからの100年”を見据えたリゾートMICE\*の確立など、いろいろな取り組みが印象的でした。



日本を代表する現代建築家・清家清氏が設計した「ザ・プリンス 軽井沢」。



コテージやヴィラでは、自然を満喫しながら滞在できる。



「軽井沢プリンスホテルイースト」のロビーは、モダンな雰囲気

### 2020年夏、MICE施設が開業！ どんな様子か教えて！

取材時は、MICE専用施設のオープン前でした。2020年7月に施設が開業となっていますが、あらかじめポイントを教えてください。



### 観光地に滞在しながら働く「ワーケーション」の提案も。

大型会議や団体のお客さま専用のバンケットテラス、バンケットロビーが2020年7月に開業。これにより宿泊利用とMICE利用のお客さまの動線が整理されました。同日開業のレストラン「ALL DAY DINING LOUNGE / BAR Primrose」ではテラスでテレワークができるなど、ニューノーマルな働き方の需要にお応えするサービスを提案。また、11/3（火・祝）には、長野県内トップを切って軽井沢プリンスホテルスキー場がオープンしました！



事業戦略部門  
 マーケティング戦略担当  
**中嶋里紗さん**

**Great!**

\* MICE = Meeting (会議) + Incentive (報奨) + Convention (大会・国際会議) + Exhibition (展示会・発表会) の頭文字をとった造語で、これらのビジネスイベントの総称。



チタンねじなど、加工しにくい素材も製品化してきた。

## ねじづくりの疑問氷解！ 職場環境にも注目！

「他社にできないものに挑む！」という柿澤宏一社長の言葉通り、業界内でも率先してステンレスねじ製造に移行し、現在は特殊合金のねじも生産するなど常に先を見据えたものづくりが素晴らしい！ 製造現場で女性を採用し、だれもが安全に働ける環境づくりに力を注いでいるのも先鋭的でした。昔から謎だった「ねじ山」がどうやってできるのかがわかって嬉しかった～！



1日に200万本以上のねじを製造。

ねじのギザギザの部分「ねじ山」は圧をかけて転がすように加工する転造によってつくる。



製造現場で活躍する「ねじガール」。働きやすい職場づくりに力を入れる。



### 興津螺旋さんらしい新しい製品は？

取材時に、より付加価値のある製品づくりに力を入れているとお聞きしました。その後、新しく興津螺旋さんらしい商品は誕生しましたか？

### 当社ならではの新品が生まれました！



「CRAB3 (クラブスリー)」という新品が生まれました。雌ねじがなくても自分で部材にねじ込むことができるタッピンねじで、頭部が六角レンチで締めるキャップボルトになっているタッピンボルトです。ねじ部分がおにぎり型になっているのがわかるでしょうか。この形状が部材に締め込む際の抵抗を減らしてくれます。タッピンねじとキャップボルトの両方を生産する当社だからこそできた商品です！



代表取締役社長  
**柿澤宏一さん**

**Amazing!**

